

(款) 10総務費 (項) 20選挙費 (目) 20市議会議員選挙費

◎市議会選挙執行の経費

市議会選挙執行事務

【 選挙管理委員会事務局 】

【事業の内容】

(1) 市議会選挙執行事務

- ・平成21年4月26日執行の市議会議員選挙について、公営ポスター掲示板の購入等の事務を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,870	9,870	9,370		500

主な支出内訳

・市議会選挙執行事務

職員手当	1,038
臨時的任用職員賃金	282
公営ポスター掲示板消耗品費	7,866
期日前投票システム保守管理業務委託料	58

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 選挙-03 市議会議員選挙執行事務 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	447 市議会議員選挙					
主管課	選挙管理委員会事務局	関連課					
分野名	市民自治						
目標 (目標値)	選挙の執行						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	9,370千円			前回選挙は平成17年 4月24日執行		
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	9,370千円					
	人員配置数	1.4人					
	人件費	13,379千円					
事務事業 運営経費	総事業費	22,749千円			平成20年4月選挙人 名簿登録者数148,722 人		
	市民1人当 りの経費	129円					
	対象者1人 当りの経費	153円					
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※		
					※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)		
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 有権者の高齢化に伴う投票しやすい環境づくり、選挙事務の効率化、経費削減
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 期日前投票所の増設を検討し(腰越行政センター)、20年度以降に行われる選挙において開設できるよう準備を行った。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 投票区域の見直しについて、有権者からの意見や要望があった。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 全市域投票区の見直しを図るとともに、有権者の利便を推進してゆきたい。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性
	選挙の基本である正確性と公平、公明性を保ちつつ、迅速に事務を行うための方法の検討など、効率化のために改善を進めてゆきたい。				有
担当課長氏名:		選挙管理委員会事務局次長 小杉 和義			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性
	選挙は公職選挙法に基づき全国的に共通して執行されるものであるが、投票区の設定など、地理的状況や有権者の年齢分布など、その地域の特性に応じ対応してゆかねばならない要素も存在している。この点について費用対効果のバランスをとりながら、有権者が納得できるような投票環境の構築を推進してゆきたい。				有
担当部名	選挙管理委員会事務局長	部長名	兵藤 芳朗		